



幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオンニュースレター

WILDERNESS

〒300-3253茨城県つくば市大曾根3765-4 029-895-3775 info@yoshonencamp.com www.yoshonencamp.com

4月号の特集

FEATURE

- 花山研修合宿
- 春のゆめキャンプスタッフ募集

03 月月例会報告

○ つまごいスキーキャンプ 2013

FOREWORD

ダイバーシティ

つまごいスキーキャンプが無事に終了しました。今回のスタッフは、花山OB・OGと野外の専攻生、なぜが野外を卒業した社会人がブレンドした、バランスの良いチームでした。長年のキャンプ経験で、スキー技術、カウンセリングとも信頼できるOB・OG、野外に対するモチベーションの高い野外専攻生、バクの近くで2年間スタッフをして先の見えてる社会人と、近年になく最強の布陣でした。キャンプのカウンセラーは、OBOGだけだと、キャンパーにとっては近い存在ですが、専門性に限界があります。野外専攻生だけだと、キャンパーにとっては遠い存在になってしまいます。希望的には、プログラムディレクターができる経験豊かな大学院生がほしいところですが、この調子でいけばあと数年すれば、そのバランスもとれてくると思います。

キャンプが成功して、未永く続くためには、ダイバーシティ（多様性）がとても重要です。キャンパーのダイバーシティは、そのギャップが教育効果を生み、スタッフのダイバーシティは、専門性や継続性を生みます。また、キャンパーやスタッフだけでなく、いろいろなキャンプ団体がそれぞれの専門性を活かして発展することや、野外の専門を持つどの大学も力をつけるなど、みんなで発展することがとても大切です。

カウンセラーユニオンは、これからも野外専攻生、一般学生、大学生、社会人などボーダレスなメンバーで、お互いのいいところを出し合い、苦手なところを補いながら、最高のキャンプを子どもから大人まで提供しようと思います。メンバーのみなさんにも、CUを通じて、多彩な力と責任感を身に付けてもらい、みなさんの夢の実現の一助となることを期待します。



REPORTS

03 月月例会

3月20日（水）、幼少年キャンプ研究会事務局にて三月カウンセラーユニオン月例会を実施しました。参加者はよっちゃん、きむ、もりお、あゆ、りっく、ビネガー、がっきーです。高校生三人を含む7人で、スキーとASEの指導について学びました。

初めに、この冬スキー場でインストラクターを経験してきたあゆが、その時に感じた事、体験したことをメンバーに伝えてくれました。その後ディスカッションを経て、スキー指導への理解を深めていきます。初めから理想的な滑りを追うのか、滑りの重要なポイントをつかむために理想からはずれた滑りを教えるのか。教える人次第では生徒のスキー人生が変わってしまう事も確認し、指導者としての責任も感じる会でした。

スキーの話の後は外へ出 ASE の講習。まずは自分たちが ASE 課題に取り組みます。通称『UFO』！ほっちも加えた8人の指の上にフラフープをのせ、全員の指からはなれないよう、立った状態からゆっくりフープを地面におろして行きます。初めはなかなか上手く行かないものの、かけ声をかけたり、なぜ上手くフープが下がらないのかを考え、試行錯誤の末にようやく UFO を着地させる事ができました。

ASE を体験した後は、振り返りと共に野外指導者としての心得『SPEC 理論』を学びました。

Student centered,
Problem based,
Experience based,
Collaboration

この4つの原則に習って、野外指導を行うこと。指導中に迷ったときは、これらのどれかが道を示してくれます。

その後はあゆが指導する立場となってASEをもう一つ、通称『日本列島』に挑戦！コンクリートのブロック2枚の上に、八人全員が乗って、みんなで10秒数えるのが課題です。こちらは数回の試行ののち、あっさりクリア。しかし、ブロックを1枚に減らした挑戦は結局クリアできませんでした。

参加者のレベルに合わせたASEの難易度の設置、そして上手く試行錯誤を促す声をかけること、そして何よりも参加者の安全確保。指導者として意識すべき事は多い

と感じさせられました。

みんなであゆへのフィードバックを終え、ここでロープワークを学びます。日本の支柱に丸太を渡すべく、角縛りを練習しました。丸太を渡せるようになるだけで、ASEのバリエーションは無限大に増えるんです。

最後に、丸太を使ったASEを行いました。ここでは紹介だけ。全員が丸太の上へ乗り、そこから落ちないようにメンバーの誕生日順に並べ変わる『ラインナップ』、そして丸太の周囲1メートルには足をつかずに、丸太の上を越え、反対側に全員で移動する『ロープーム』です。

以上、スキー・ASE指導をテーマとした3月月例会でした！個人的には今年初の研修会、得られたものは大きかったと思います。(りっく)

○2013 つまごいスキーキャンプ

3月27～31日の5日間で群馬県パルコールつまごいスキー場において、つまごいスキーキャンプ2013がおこなわれました。

PDはばくさん、カウンセラーとして、よっちゃん、がっきー、あゆ、そしてキャンパーとして高校生まで参加していた貴彦(ジージョ)、花山B・Cコースに参加したしめじ、ファジアーノウィンターキャンプで食料係を務めた大阪体育大学のキッドさん、そして同じく大阪体育大学のルーさんが参加しました。

キャンパーたちは7つの班に分かれて毎日9～12時前までと1時すぎ～16時半までしっかりスキー講習を受けます。

1日目は宿舎に到着後足慣らしで14～16時半まですべりました。

2日目は午前中にビデオ撮影があり、夕食後にビデオ講習。普段自分の滑りを見る機会はなかなかないので、キャンパーたちはスクリーンに映し出される動画に集中していました。自分の滑りを見て、指摘されたことを意識することは、技術の向上の手助けになります。また、1～3班と4～7班に分けて行ったので自分たちよりも上の班のキャンパーの滑りを見ることでいい刺激を得ることもできていたかなと思います。

今年は雪不足に悩まされ、宿舎から最寄りのリフトまでの道は泥だらけ。パルコール左下部のバラギスキー場は2日目にはクローズしてしまいました。3日目からはゴンドラ乗り場までバスで移動。また、毎年恒例の野地平ツアー(バックカントリースキー)も平野自体も雪があまりついていなく、ゲレンデへ戻ってくるコースも雪がなくなり笹藪になってしまっていたこともあり、中止となりました。

そのかわり、つまごいGS大会(ポール大会)を開催しました。ほとんどのキャンパーが人生初のポールでしたが初級班から上級班まで度のキャンパーも楽しんでいました。上級・中級・初級のブロックごとに優勝者にはオレオの贈呈がありました。ポールは滑りの丁寧さだけでなくスピードに乗るための技術が必要で、普段の講習とはまた違った楽しみがあったのではないのでしょうか。ゲーム・遊びの要素も強く、負けず嫌いの人にはとっておきの競技です。

4日目の午後はつまごいスキー検定。昨年(前回)獲得したプライズに残留してしまうか、上がれるか、飛び級できるか、初日～4日目の午前まででいかにスキー技術をアップできたかが試される瞬間です。検定前の昼食時は緊張であり食べ物がのどを通らないキャンパーもいたのではないのでしょうか。検定は初級班から始まりました。今年につまごいがスキーデビューだったキャンパーがしっかりブルークで曲がりながら下りてくることができるようになっていて、一生懸命全力で滑ってくる姿はとても格好良かったです。中級班が滑り終わって上級班の検定に入った頃、一気に気温が下がり濃霧がかかってしまいました。どうにか3班2班は滑ってきましたが、高速で滑ってくる1班をあんな天気の中滑らせるのは危険と判断し、1班の検定は5日目の午前へ持ち越し。

夕食後は2～7班のプライズ発表。自分の名前が呼ばれるまでみんな緊張した面持ちでした。その緊張はプライズが上になるにつれて上がっていきます。ブロンズ(SAJ3級レベル)、シルバー、

ゴールド(2級レベル)あたりの喜び方は半端ではなく、うれし泣きしまったり、更にはもらい泣きしてしまうキャンパーもいました。

5日目は雪が降っていて冷え込んでいた中、閉校式、記念写真撮影をして、検定が残っている1班以外は最後の滑走時間へ。中には2班3班のように1班の検定を見に来て応援してくれた班もありました。しかし1本に全力を出し切るというのはなかなか難しく、納得のいく滑りができなかったキャンパーもいたのではないのでしょうか。かと思えばその時になって急にいい滑りをしてくるキャンパーもいて、1級を目指す高校3年生2人は2本目(小回り)をし、検定終了。

昼食時にプライズが発表されました。みんないい結果で、自分が5日間指導してきたみんなの笑顔はとても印象的で、それを見れたこと

をとてもうれしく思います。

今年もキャンパーたちの成長した姿や、楽しそうに活動に取り組む姿がみれてよかったです。スキーの楽しさ



だけでなくここでできた友達との交流の中で得たものを新学期から生かしていってくれるといいなと思います。(あゆ)

OWEA プロ・ショートコース

3月7日～16日の10日間にわたり、Wilderness Education Associationの資格をとるためのコースに大学教員、民間野外教育者、大学生など日本人7名と参加してきました。最初の2日間はSOLOと言う団体の公認する野外救急法の講習を受けました。その後ラドフォード大学の附属キャンプ場であるセル-自然保護センターに場所を移し、5名のアメリカ人学生を加え、2日間の準備期間の後、6日間のバックパッキングに出発しました。コースは山中にて、アウトドアスキルや、理論の授業を行ったり、参加者が指導演習を行うティーチングクラスをみっちり行いました。当初6日間を予定していましたが、4日目の夜に大寒波に見舞われ、日本人参加者の一部が一度の凍傷になり、今回最大の見所となったアパラチアン山脈の稜線歩きを断念し、下山することとなりました。目的のゴールまで行けませんでした。下山の決断や、リスクマネジメントなど、学びの多い体験となりました。この結果、日本人参加者のうち、4名がアウトドアルーダー(参加者を山の中に連れていって教育活動ができる資格)、3名がアウトドアエドゥケーター(アウトドアルーダーを養成できる資格)、そして私がサーティフィケーション・イグザミナー(リーダー、エドゥケーターの資格を発行できる資格)をとることができました。6月にはWEA ジャパンが本格始動します。花山キャンプの指導者にはピッタリの資格です。みなさんも是非アウトドアルーダーにチャレンジしてもらおうとともに、日本での展開に幼少研も引き続きサポートしていきましょう。



PROFESSIONAL
OPPORTUNITIES

<月例会・研修合宿・ その他各種研修会の予定>

05月花山研修合宿参加者募集

10月の台風で流された砥沢の橋をみんなで復活して、花山の歴史に名前を刻もう

日時：5月3日(金)7:00 つくばセンター集合～5月6日(月)18:00 つくばセンター解散/場所：花山キャンプ場/内容：砥沢の橋大修理、栗駒バックカントリースキーツアー、山菜採り、温泉：3000円(保険・食費)/申込：幼少年キャンプ研究会事務局

05月月例会参加者募集

日時：5月12日(日)7:00 つくばセンター集合/場所：那珂川/内容：カヌー指導法、川のリスクマネジメント/

参加費：1000円(保険・交通費・食費)/小松彩季
(aki19930928@yahoo.co.jp)

02013 春つくばゆめキャンプスタッフ募集

日時：第1回目5月18日(土)19日(日)・第2回目6月8日(土)9日(日)/場所：茨城県那珂川/内容：カヌー指導法、野外生活指導/条件：大学生以上(高校生はインターンとして参加することができます)/申込：幼少年キャンプ研究会事務局

0日本キャンプ会議

日時：5月25日(土)/場所：東京国立オリンピックセンター記念青少年総合センター/内容：WEAの報告会があります/申込：当日可/URL：www.camping.or.jp/

OWEA カンファレンス

日時：6月21日(金)/場所：京都府城陽市友愛の丘/内容：WEA ワークショップ、WEA コースと講師を務めてくれたマーク・ワグスタッフ先生が講演します。その他スキルアップのためのワークショップ/申込：当日可/URL：www.weaj.jp

日時：6月22日(土)・23日(日)/場所：京都府京都教育大学/内容：研究発表/申込：当日可/URL：www.joes.gr.jp

去年まで
キャンパー
として参加
していたつ
まごいに今年
は1班のカウ
ンセラーとし
て参加しまし
た。去年まで
私もキャンパ
ー(参加者)と
して同じ班で

FROM
THE
EDITOR

一緒に教わってた班員にどれだけ自分が影響を与えられるのかなと思っていましたが、5日間でみんなの滑りはどんどん変わって、すごく嬉しかったです。まさしく、ワシが育てた、って感じでしょうか。(笑)今シーズンアルバイトさせてもらったスクー、ルのみなさんや大学のスキーサークルの先輩や同期に教わったことを自分なりに伝えられたのかなと思います。

生活班は2つの小中学生の女の子部屋担当で、本当に本当に子供はかわいいなど。トマト早食いして口に詰めすぎて吹いたり。(笑)自分が小4からずっと行き続けた大好きなつまごいをみんなも好きになってくれていたうれしいです。そして春や夏、秋のキャンプで会ったキャンパーに再会でき、長年参加してくれている子たちの成長した姿が見れるというのが幼少年キャンプのいいところであると改めて実感しました。来年も再来年もその先も参加して欲しいですし、夢キャンや花山にも来て、元気な姿を見せてほしいです。

また、キャンパー時代同じ世代だった2人と、夏や冬と一緒にスタッフをした2人も今回のカウンセラー陣について、すごくよかったです。

4月も5月も6月もいろいろスタッフやらせてもらう予定なのでこれからも野外楽しんでいきたいです。

(あゆ)

